

(別記)

四日市市農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は、米を主体に転作作物として小麦及び大豆、また、都市近郊という立地をいかし、花き、野菜等の生産が行われている。しかし、近年、農業者の高齢化が進み、耕作放棄地が増加しつつある。

今後、担い手農家への農地集積をより一層進めるとともに、主食用米の需要が減少する中、野菜を主体とした高収益作物への作付転換を図っていく必要がある。また、特に需要の高い小麦及び大豆については、排水対策及び土壌改良等の対策を徹底させることによって、品質・収量の向上を図り、よりニーズに対応した生産に取り組む必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

市内約2600haの水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図る。

(1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者の意向を勘案しつつ、地域農業再生協議会別生産量の目安に沿った生産を推進する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

飼料価格の高騰により安全安心な国産飼料用米の需要が増加していることから、複数年契約を推進し、安定供給と生産の拡大を図る。

また、わらを利用する耕畜連携を推進し、耕種農家の所得向上を図る。

イ 米粉用米

小麦の代替品として県内の実需者からも需要があることから、複数年契約を推進し、安定供給と生産の拡大を図る。さらに、生産農地の集約化による作業の効率化にも取り組む。

ウ 新市場開拓用米

主食用米の国内需要が減少する中、産地交付金を活用して国内外の新たな米の市場の確保に向けて取り組む。さらに、生産農地の集約化による作業の効率化にも取り組む。

エ WCS用稲

県内の実需者と連携してWCS用稲の需要拡大を図る。産地交付金を活用して、生産農地の集積化による効率化にも取り組む。

また、粗飼料作物などの生産ほ場では、有機物の持ち出しによる地力低下が懸念されるため、耕畜連携を推進し、資源循環を進め堆肥施用による地力回復を図る。

オ 加工用米

生産農地の集積・拡大を図る。また、地元の実需者との契約を推進して、需要の拡大を目指す。

(3) 麦、大豆、飼料作物

産地交付金を活用して、団地化及びブロックローテーションの推進により、作業の効率化、低コスト化を図る。また、作付面積拡大に有効な手法である二毛作による水田の高度利用を推進していく。

ア 小麦

種子更新による病害予防、明渠の高度化やチゼルプラウによる排水対策、施肥量の管理等による単収向上を目指す。

イ 大豆

雑草対策として中耕培土の実施を徹底することで、雑草種子の混入を防ぎ、さらに単収向上を目指す。

また、実需者からは環境保全型農業直接支払交付金に規定される方法（有機栽培）で栽培された大豆の需要が高まっているため、生産農地の拡大を目指す。

ウ 飼料作物

実需者の要望に対応した生産を目指す。

(4) 高収益作物（園芸作物等）

当地域の需要に応じた販売を目的とした生産に取り組めるよう、直売所等における地産地消の推進を図る。また、農地の有効活用、農業生産力の向上及び消費者への安定的な供給のためにも、水田での野菜（二毛作）の定着、生産拡大のための支援に取り組む。

また、四日市市の指定・特定野菜について、さらに生産拡大のための支援に取り組む。

(5) 畑地化の推進

農地の有効活用及び農業生産力の向上に取り組む。

3 作物ごとの作付予定面積

| 作物 | 前年度の作付面積 (ha) | 当年度の作付予定面積 (ha) | 2020年度の作付目標面積 (ha) |
|-----------|------------------|--------------------|-----------------------|
| 主食用米 | 1,525 | 1,676 | 1,675 |
| 飼料用米 | 52 | 53 | 54 |
| 米粉用米 | 22 | 22 | 23 |
| 新市場開拓用米 | — | 1 | 1 |
| WCS用稲 | 8 | 8 | 8 |
| 加工用米 | 18 | 18 | 19 |
| 備蓄米 | — | — | — |
| 麦 | 419 | 432 | 445 |
| 大豆 | 256 | 261 | 266 |
| 飼料作物 | 18 | 18 | 20 |
| そば | — | 1 | 1 |
| なたね | — | 1 | 1 |
| その他地域振興作物 | 144 | 146 | 150 |
| 野菜 | 102 | 104 | 106 |
| 花卉・花木 | 14 | 14 | 15 |
| 果樹 | 15 | 15 | 16 |
| 地力 | 12 | 12 | 12 |
| その他 | 1 | 1 | 1 |

4 課題解決に向けた取組及び目標

| 整理 番号 | 対象作物 | 使途名 | 目標 | 前年度（実績） | |
|----------|----------------------|--------------------|----------------------|-----------------------------|----------------------------|
| | | | | 前年度（実績） | 目標値 |
| 1 | 麦（基幹作） | 麦生産性向上加算 | 基幹作麦作付面積 単収 | H31 年度 39,855a 288kg/10a | R2 年度 42,500a 292kg/10a |
| 2 | 麦（二毛作） | 麦生産性向上加算 （二毛作） | 二毛作麦作付面積 単収 | H31 年度 688a 288kg/10a | R2 年度 702a 292kg/10a |
| 3 | 大豆（基幹作） | 大豆生産性向上加算 | 基幹作大豆作付面積 単収 | H31 年度 1,103a 111kg/10a | R2 年度 1,125a 120kg/10a |
| 4 | 大豆（二毛作） | 大豆生産性向上加算 （二毛作） | 二毛作大豆作付面積 単収 | H31 年度 23,000a 111kg/10a | R2 年度 24,819a 120kg/10a |
| 5 | 飼料作物（二毛作） | 飼料作物作付拡大助成（二毛作） | 二毛作飼料作物作付面積 | H31 年度 804a | R2 年度 820a |
| 6 | 資源循環に取り組む粗飼料作物等 | 資源循環（耕畜連携） | 資源循環（耕畜連携）取組面積 | H31 年度 278a | R2 年度 284a |
| 7 | わら利用に取り組むわら専用稲及び飼料用米 | わら利用（耕畜連携） | わら利用（耕畜連携）取組面積 | H31 年度 1,761a | R2 年度 1,797a |
| 8 | 野菜・花卉・花木（基幹作） | 高収益作物助成 | 野菜作付面積 | H31 年度 1,655a | R2 年度 2,265a |
| | | | 花卉花木作付面積 | H31 年度 189a | R2 年度 240a |
| 9 | 野菜（二毛作） | 高収益作物助成（二毛作） | 二毛作野菜作付面積 | H31 年度 578a | R2 年度 981a |
| 10 | 飼料用米・米粉用米 | 飼料用米・米粉用米の複数年契約助成 | 飼料用米作付面積 | H31 年度 — | R2 年度 969a |
| | | | 米粉用米作付面積 | H31 年度 — | R2 年度 39a |
| 11 | 新規需要米（米粉用米） | 新規需要米（米粉用米）の集積支援 | 米粉用米作付面積（集積） | H31 年度 2,040a | R2 年度 2,081a |
| 12 | 新規需要米（WCS用稲） | 新規需要米（WCS用稲）の集積支援 | WCS用稲作付面積（集積） | H31 年度 317a | R2 年度 368a |
| 13 | 加工用米・新市場開拓用米 | 加工用米・新市場開拓用米の集積支援 | 加工用米・新市場開拓用米作付面積（集積） | H31 年度 — | R2 年度 288a |
| 14 | 大豆（基幹作・二毛作） | 大豆付加価値助成 | 大豆作付面積（付加価値分） | H31 年度 1,486a | R2 年度 1,512a |
| 15 | 新市場開拓用米（基幹作） | 新市場開拓用米の取組助成 | 取組面積 | H31 年度 — | R2 年度 110a |